

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	2 年	2	選択
担当教員			
中村 亮介			
A (会計学科)	S (専門科目)	AC (会計)	204 (中級科目)

授業のねらい（概要）	国際財務報告基準（I F R S）に関する知識と能力を習得し、その基本的な仕組みについて理解することにより、適正な会計処理を行う能力と態度を育てることを目的とする。具体的には、I F R Sの意義と役割について概説し、会計処理を検討する。		
授業計画	第1回	【遠隔】オリエンテーション オリエンテーション、国際会計論の学び方、国際会計論の学習目標を明確にし、どのように国際会計論を学ぶべきか理解する。 予習（時間）：国際会計論に関するシラバス、テキスト第1章第2章を査読し概要を理解しておく（120） 復習（時間）：国際会計論に関する学び方をまとめる（120）	
	第2回	【遠隔】国際財務報告基準の学び方 国際財務報告基準の学び方について、テキストを読み、理解し、説明できるようにする。 予習（時間）：テキスト第1章を読み、国際財務報告基準の学び方を理解しておく。（120） 復習（時間）：テキスト第1章をまとめ、国際財務報告基準の学び方を簡潔に説明できるようにする。（120）	
	第3回	【遠隔】国際財務報告基準の基礎知識 国際財務報告基準の基礎知識について、テキストを読み、理解し、説明できるようにする。 予習（時間）：テキスト第2章を読み、国際財務報告基準の基礎知識を理解しておく。（120） 復習（時間）：テキスト第2章をまとめ、国際財務報告基準の基礎知識を簡潔に説明できるようにする。（120）	
	第4回	【遠隔】収益 収益に係る会計基準について、テキストを読み、国際財務報告基準を理解し、日本の会計基準との主な相違を説明できるようにする。 予習（時間）：テキスト第3章第2節を読み、収益に係る会計基準を理解しておく。（120） 復習（時間）：テキスト第3章第2節をまとめ、収益に係る会計基準の日本の会計基準との主な相違を説明できるようにする。（120）	
	第5回	棚卸資産 棚卸資産に係る会計基準について、テキストを読み、国際財務報告基準を理解し、日本の会計基準との主な相違を説明できるようにする。 予習（時間）：テキスト第3章第3節を読み、棚卸資産に係る会計基準を理解しておく。（120） 復習（時間）：テキスト第3章第3節をまとめ、棚卸資産に係る会計基準の日本の会計基準との主な相違を説明できるようにする。（120）	
	第6回	有形固定資産 有形固定資産に係る会計基準について、テキストを読み、国際財務報告基準を理解し、日本の会計基準との主な相違を説明できるようにする。 予習（時間）：テキスト第3章第4節を読み、有形固定資産に係る会計基準を理解しておく。（120） 復習（時間）：テキスト第3章第4節をまとめ、有形固定資産に係る会計基準の日本の会計基準との主な相違を説明できるようにする。（120）	
	第7回	無形資産 無形資産に係る会計基準について、テキストを読み、国際財務報告基準を理解し、日本の会計基準との主な相違を説明できるようにする。 予習（時間）：テキスト第3章第5節を読み、無形資産に係る会計基準を理解しておく。（120） 復習（時間）：テキスト第3章第5節をまとめ、無形資産に係る会計基準の日本の会計基準との主な相違を説明できるようにする。（120）	
	第8回	減損 減損に係る会計基準について、テキストを読み、国際財務報告基準を理解し、日本の会計基準との主な相違を説明できるようにする。 予習（時間）：テキスト第3章第6節を読み、減損に係る会計基準を理解しておく。（120） 復習（時間）：テキスト第3章第6節をまとめ、減損に係る会計基準の日本の会計基準との主な相違を説明できるようにする。（120）	
	第9回	リース リースに係る会計基準について、テキストを読み、国際財務報告基準を理解し、日本の会計基準との主な相違を説明できるようにする。 予習（時間）：テキスト第3章第8節を読み、リースに係る会計基準を理解しておく。（120） 復習（時間）：テキスト第3章第8節をまとめ、リースに係る会計基準の日本の会計基準との主な相違を説明できるようにする。（120）	
	第10回	【課題】引当金、偶発負債及び偶発資産	

	引当金、偶発負債及び偶発資産に係る会計基準について、テキストを読み、国際財務報告基準を理解し、日本の会計基準との主な相違を説明できるようにする。 予習（時間）：テキスト第3章第9節を読み、引当金、偶発負債及び偶発資産に係る会計基準を理解しておく。（120） 復習（時間）：テキスト第3章第9節をまとめ、引当金、偶発負債及び偶発資産に係る会計基準の日本の会計基準との主な相違を説明できるようにする。（120） 第11回 従業員給付およびストック・オプション 従業員給付およびストック・オプションに係る会計基準について、テキストを読み、国際財務報告基準を理解し、日本の会計基準との主な相違を説明できるようにする。 予習（時間）：テキスト第3章第10節を読み、従業員給付およびストック・オプションに係る会計基準を理解しておく。（120） 復習（時間）：テキスト第3章第10節をまとめ、従業員給付およびストック・オプションに係る会計基準の日本の会計基準との主な相違を説明できるようにする。（120） 第12回 金融商品 金融商品に係る会計基準について、テキストを読み、国際財務報告基準を理解し、日本の会計基準との主な相違を説明できるようにする。 予習（時間）：テキスト第3章第11節を読み、金融商品に係る会計基準を理解しておく。（120） 復習（時間）：テキスト第3章第11節をまとめ、金融商品に係る会計基準の日本の会計基準との主な相違を説明できるようにする。（120） 第13回 【課題】法人所得税 法人所得税に係る会計基準について、テキストを読み、国際財務報告基準を理解し、日本の会計基準との主な相違を説明できるようにする。 予習（時間）：テキスト第3章第12節を読み、法人所得税に係る会計基準を理解しておく。（120） 復習（時間）：テキスト第3章第12節をまとめ、法人所得税に係る会計基準の日本の会計基準との主な相違を説明できるようにする。（120） 第14回 連結・持分法 連結・持分法に係る会計基準について、テキストを読み、国際財務報告基準を理解し、日本の会計基準との主な相違を説明できるようにする。 予習（時間）：テキスト第3章第14節を読み、連結・持分法に係る会計基準を理解しておく。（120） 復習（時間）：テキスト第3章第14節をまとめ、連結・持分法に係る会計基準の日本の会計基準との主な相違を説明できるようにする。（120） 第15回 【課題】外貨換算 外貨換算に係る会計基準について、テキストを読み、国際財務報告基準を理解し、日本の会計基準との主な相違を説明できるようにする。 予習（時間）：テキスト第3章第15節を読み、外貨換算に係る会計基準を理解しておく。（120） 復習（時間）：テキスト第3章第15節をまとめ、外貨換算に係る会計基準の日本の会計基準との主な相違を説明できるようにする。（120）
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	DP（商学部）の2項目を意識した科目となっている。 1. 情報の収集、分析を行い、進んで課題解決に臨む姿勢 2. 専門的分野の学びを、実務や社会で応用できる能力 DP（会計学科）の1項目を意識した科目となっている。 1. 会計学の専門的知識を持ち、職業会計人として全うできる能力 【身に付くスキル】 グローバルな視野・職業倫理感
到達目標	①我が国の会計基準を理解し、説明することができる。 ②国際的な会計基準を理解し、説明することができる。 ③我が国の会計基準と国際的な会計基準との相違を理解し、説明することができる。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	課題の全体的な注意点などを授業内で解説する。
履修上の注意	電卓を持参すること。
成績評価の方法・基準	学期末に行う「筆記試験」（80%） 授業内外の「課題」（20%）
教科書	『IFRS会計学基本テキスト（第6版）』 ISBN番号：978-4502285417 著者名：橋本尚、山田喜隆 出版社：中央経済社 発行年：2018年 価格：3672円
参考書・教材	
備考	2020年度は10, 13, 15回を課題研究として学修する。 それぞれ、テキストの該当箇所の問題を解き、提出してもらう。それぞれ150分の学修を想定している。
教員との連絡方法	初回の講義にて知らせる。